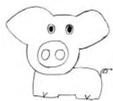


# いっぽ だより

はじめのいっぽ弥生  
平成27年7月

「わーい、あと何日で夏休みだ！」と喜びいっぱいの子どもたち。少しでも多くの楽しい体験をさせてあげたいと、スタッフ一同知恵を出し合い、子どもたちと一緒に夏休みの活動を計画中です。



## いっぽの夏まつり 開催！

とある土曜日、「流しそうめん」を楽しんで、心もお腹も満足な子どもたち。幸せいっぱいのひととき、「みんなにも食べてほしいね」という言葉をきっかけに、「じゃあ、夏まつりをしよう！」と、一気に企画が盛り上がりしました。

初日の11日は、いっぽの小中学生中心の日。店番は交替制にして、売る人になったり、買う人になったりして楽しめます。これまで石拾いや草取り、お掃除などのお手伝いなど、「人に喜んでもらえた体験」を1ポイント10円として、300円を目標に貯めてきた本物のお金を使って、屋台などでお買い物をします。

続く12日は、前日の体験を生かし、幼児チームの親子や地域の方々、家族や学校の先生などにお手紙を書いてご招待する予定です。一人ひとりが役割を持って、働く喜び、人の役に立てる充実した気持ちが育まれることを願っています。



## いっぽ夏まつり 予定

### 日時

一日目：平成27年8月11日（火） 10:30～12:30

※小中学生の子どもたちを中心に楽しめます。

二日目：平成27年8月12日（水） 10:30～12:30

※幼児チーム（保護者同伴）、地域の方々、学校関係者等をお招きします。

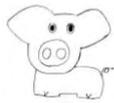


### 内容

- ・ 流しそうめん、ウィンナー、スイカコーナー、お化け屋敷
- ・ 縁日コーナー（くじびき、かき氷、スライム作り、風船アート、竹とんぼなど）

※天候などの状況により、内容に変更がある場合もあります。

今年度前半に積み重ねてきた様々な経験の集大成として、みんなに喜んでほしい！気持ちを込めて、心に残るイベントになるよう、わくわく準備を進めて参ります。あるがままの自分ができることを、出来るところで発揮し、それぞれが活躍できるよう、温かく見守っていただければと思います。



## 「論語（ろんご）」の世界へようこそ

最近のいっぽでは、その日の締めくくりとして、「論語」の読み聞かせをしています。7月から本格的にいっぽの仲間入りをしたトシ先生が、毎回一文を抜粋して音読み、意味を教えてください、みんなはトシ先生に続いて復唱するというものです。

### 「論語って…なに？」

スタッフも、教科書でなんとなく『子曰く（シ、イワク）…』で始まるものがあったな…なんて程度の知識しかなかったのですが、実は最近、育児教材としても注目を集めているというのです。

そもそも「論語」とは、「孔子（こうし）」という2500年前（！）の中国の思想家の言葉をまとめたもの。（少し、彼の弟子の言葉も入っています）

孔子が生きた時代は、あちこちで戦争や争いが絶えない時代でした。そんな現状を少しでもよくしようと、孔子は、人への思いやりや、人間として道徳や、礼儀を尽くすことの大切さを、世の中に訴え続けていたのです。

論語には、

- ・ 人は、どう行動するべきか？
- ・ 尊敬される人間とは、どういうものなのか？
- ・ そうなるためには、どんな努力をすればいいのか？



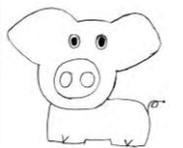
など、現代の大人も子供も、誰もがあてはまるような「生きる指針」「教訓」がぎっしりとつまっているのです。

トシ先生に読んでもらった一文を紹介します。

しいわく こうげんれいしょく すくな じん  
子曰く、巧言令色、鮮し仁

意味：自分をよく見せようと言葉を巧みに飾り、顔色や身振りを繕ったりするような者には、「仁」すなわち「人を思いやる、まことの心」が少ないものだ。

見た目や言葉で自分を良く見せようとする人は、「まことの心」が足りてないよってことなんだね！



いかがですか？

すぐに意味を理解することはできなくても、耳で聞き、声に出して読むことで、ゆっくりと体にしみこんでいくような、サプリのよ様な言葉たちばかりです。帰りまでの数分間、みんなの心も落ち着くような時間を楽しんでおります。



## 7月の療育シーン（幼児編）



心地よい風を感じたり、音楽のような小鳥のさえずりを聞きながら、水、砂、土の感触を確かめる子どもたち。

『三つ子の魂百まで』と言うように、ゆっくり、じっくり、納得するまで探索活動をした経験の一つ一つが、将来、たくたくましく生きる力になると信じています。



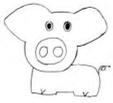
足腰を鍛え、健康な体作りのために、どんどんお散歩。目的地に着くことも大事だけど、道端に生えている草花や虫、お店の看板や働く車など、色々な物に興味を示して寄り道するのも、とても大切。「あれなになかな?」「みてこれ〜!」疑問や感動が仲間とのコミュニケーションにもつながり、人としての感性を豊かにしていきます。



全身で遊んだ後は、お腹もペコペコ! 仲間と一緒にだから、食欲も出るね。いっぱい食べて、大きく大きくな〜れ♪

靴が仲良く並んで日向ぼっこ。気持ちよさそう〜! 物を大事に扱うこと、きちんとした生活習慣の積み重ねで、日々を心地よく過ごせるよう努めています。

新メンバーのともみ先生、二人のお子さんを持つお母さん先生です。素敵な笑顔で子どもと向き合い、スタッフ一丸となって、居心地良い環境作りもバッチリ。



## 7月の療育シーン（小・中学生編）



川遊びにピクニック、畑仕事にミニバレー大会…。夏らしい活動を沢山楽しんできた7月前半。畑の作物も、水不足ながらなんとか育ち、外遊びの前に、ミニトマトをつまんでパクッ！なんて贅沢なひとときも。雨の日の室内では、それぞれの得意分野で力を合わせて、自主的に計算問題に取り組むなど、子どもたち自身で活動を発展させていました。



### いっば祭りの準備、着々と

「この遊び、お祭りでもやりたいね」「僕はカラカサお化けになる！」「私はろくろ首！」  
一人ひとり、自分のやりたいこと、取り組みたいことなど、活発に意見を出し合い、計画が進行中です。当日まであれこれと相談。小道具、景品作り等では手指を使った作業もたくさんあるし、何より仲間とのコミュニケーションづくりが一番の思い出になります。みんなが主役、失敗してもそれを乗り越え、豊かな経験を積み重ねていきます。

新スタッフのあゆみ先生は、スライム作りの先生として、初日から大人気！みんな身を乗り出して興味津々、先生はどこにいる～？と埋もれてしまうくらいの盛り上がりでした！

※ちなみに…



このマークは、Sちゃんが描いてくれました♪